京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●俳句と美學との關係（一）

寄書　恕堂

俳句の原素は美で美を外れては俳句は無い故に俳句の正道を踏むには美を要素として作らねばならぬ、然るに俳句の原素は美であると云ふ事を知らずして作て居る者が多い故に五里霧中に作て居て駄句でも人に賞められれば名吟の樣に思つて自得して居る此れでは何百何千句作つたからとて遂に正道を踏むことは出來ず邪道に迷ふてしまふのだそこが邪道に迷ても已の邪道に迷つて居る事は分らぬ、酒に醉ても醉て居らぬと云ふと同じ理屈ではないか、蕪室や鬼貫の句を讀で名吟が多いと思つて居る中は宗因の句を讀でも面白く感ずるのだ、此の時には正風を讀でも駄句のみ面白く感じて眞の正風が分らないで終るのだ此うなつては蕪村曉臺の句を讀でも何が何やら分るものでは無い、則ち美の何たるが分らぬから調も分らなければ想も分らないのだ唯一に人の氣の付かぬ理屈を面白可笑く言へば名吟だと思つてしまふのだ一度邪道に迷ふたら正道を踏むことは甚だ困難だ全々生れ變らなくては正道を踏むことが出來ない、そこに來ては子規翁の句などは作爲が上手なものだ子規翁の句を讀で見れば明鏡を見るが如しであるが調といひ想といひ何れも敬服の至りである、余が根岸へ運坐に行く時は五里霧中に作つて居つたのだが邪道に迷はざりしは子規翁のお影である、その時代に根岸に集會したのは鳴雪、虚子、碧梧桐、肋骨、牛伴、愚哉、紅綠、四方太、杷栗等が見ねたのでそれから三四年立つて根岸で歌を研究し始めた。近頃子規翁の句を讀で眞に大家であることを悟り得たのであるが子規翁が云ふには俳句はいかに想が宜くつても調が惡るければ非なり、又いかに調が宜くても想が惡るければ非なりと言はれたのは全く美學を研究して言はれたのである、讀み惡い調の惡い句は子規翁の句には唯の一句も無い、俳句はつまり理屈を面白可笑く述べたからとて句といふものでは無い想と調とが完全で無くては句とはいはれぬ、俳句は美なる以上は形を離れて讀むことは出來ない、形を離れては美でも何でも無い俳句は形を離れては俳句は無いのだ、故に美と形とは何と言ふか、此の問題さへ宜く解れば何も酒に醉ふことは無いのだ。

文苑

●容貌魁偉●　硯堂

身長五尺八寸容貌魁偉、押し出しは馬鹿に立派だ、ダガ此の男薩ッ張役に立たぬ、加へて躰の割合には魂玉が小さい、放浪癖に十年といふと一寸豪さうだが其の實一向豪くない、椅子に腰掛けて飯を喰ふべく餘りに能がなくソレかといッて天秤棒を肩にして生を送らうとする決心もない、全く無用の長物だ、自分で自分が呆れたのだから他人は猶くに呆れて居る筈だ如かず息三寸を斷たうか、サテ何うしやう

●無形の信用　しのぶ

身体は強健なり、精神は正直なり、信用は甚大なり、而も容貌は秀麗なり、天下何事かならざらん、言ふを止めよコウ「お前さんは働きがないよ」と此れで働きがあつて堪るものか、働のない所が乃公の値打なり成程お前には常に苦勞を掛け連れ添ふて以來六年間春着一枚新調しやらざるは洵に濟まぬ次第なり、されど「安野さんは潔白な人物だ」と賞めをやさるゝ無形の光榮はそも幾干なるぞ、乞ふ幸に悟れ、無形の信用と有形の榮華とは到底兩立すべきものに非ざるを

新刊紹介

●東洋時報　記事淵新、材料豐饒讀者をして覺えず眼を通さしむ論説は「クローマー卿の埃及近代史を讀む」「日本内國殖民論」の二篇なり（一二七號東京麴町東洋協會）

●實業之世界　一週年紀念號丈に頁數多く記事多方面に亘れり「吾徒が一年間に於てなしたる沈痛悲壯の大苦戰史を讀め」とは本號の呼號する所なり（六卷五號本號に限り二十二錢東京芝區三島町實業之世界社）

●韓國經濟月報　概況、國庫、貿易、通貨、金融、物價、勞銀の七類に分ち統計上より指示せしものなり（二號度支部編輯）

●警察月報　三月十六日より四月十六日に至る迄の警察法令、例規及び雜報を掲げたるものなり（第九號警視廳編輯）

佐倉宗吾（七十四）

眞龍齋貞水講演



トン〜降りて來たのは、向う見ずの三次と謂ふ野郎　三「へエ親分　五「三次ッ　三「へ　五「此度マア、手前に一つ骨折つて貰はにや成らねえ事があるんだ　三「親分何方でごせえますか知らねえが何事だつて此三次の身体で濟む事なら、火の中水の中でも飛込まうと日頃誓つた三次でごせえます、親分の事なら何でも行りますから何事でも云つてくんなせえ　五「日頃手前の氣風を承知してゐるから此度ア何うしても骨折つて貰はにや成らねえ　三「エ、宜しうごせえますとも　五「オウ權次ッ　權「ヘッ　五「オウ直ッ　直「ヘッ　トン〜と二人は二階を降りて來る、權次と謂ふのは轆轤ッ首の權次と謂つてゐる何故で斯う謂ふかと云ふに人が眠がる轆轤ッ首を、身体中一杯に彫つて居る、それだから人呼んで轆轤ッ首の權次と謂ふ又向う見ずの三次の野郎は身体中一杯に雨乞小町の文身がしてあつて、何事でも爲る事が向う見ず、直と謂ふ野郎は樊噲の文身がしてあるから、樊噲の直と謂つて何うもそりや腕から足から背から頭までズウッと文身がしてある、三人共威勢の宜い野郎でございます　五「此度のう、三人に何うしても骨折つて貰はなけりや成らねえと云ふのは上野凌雲院樣御手代り圓珠院樣の御頼みで堀田領の公津新田岩橋村と謂ふ處に、宗五郎と謂ふ名主がある、此人が上野へ來てゐる、之を駕籠へ乘けて、何うしても妻子に別れを告げさせたいと云ふ圓珠院樣の思召だ、大事な人間だに依つて若し堀田の役人にふん摑まれて仕舞つたら日本中、俺が頼まれた甲斐がないと云ふやうな譯だから、何卒一つお前達が骨折つて此役を勤めてくれめへか　三「エ、宜しうごせえます、そりやア親分の前ですが大言を吐んちやごせえませんけれども、私達共三人が、ウンと腕を突張りや何でもありやしません萬一の時に私達共三人が斃死て仕舞う覺悟すりや堀田の役人なんて十人や廿人何とも思ひやしません高の知れた堀田の役人百姓の膏汗を絞りやがつて榮耀榮華をするやうな奴ですから、片ッ端から打殺して仕舞ねませう、私達共てうやつて文々倶梨伽羅で、何にも知らずに世渡りをしてゐるから、斯う云ふ時に身体を賭て掛らなけりや生涯親分の厄介になつてる甲斐がねえといふものだ心配なせえますな　權「エッへ、へ、へッ、斯う俺を誰だと思つてる憚りながら……　五「マアへ、そんなに威張らなくつても宜い此處でお前達が威張つてくれちや困る　權「エーマア、さう云ふ景氣なんですから　直「樊噲の直だア　三「向う見ずの三次だ、サア何物でも持つて來やがれ、矢でも鐵砲でも何でも梯はねえ、頼みに來りや、何事たつて敗は取らねえ　五「んちやマア支度してくれ、俺これから上野の圓珠院樣へ申し上げるから六底今夜あたりに成るかも知れねえから頼むよ　三「姉さんッ、親方の身の上なんて心配するにや及びません私達共三人が從いて居りや親方の身の上に間違のあるやうな事ア爲ませんから　登「そりやア間違があつた所で親方は自分から斯う云ふ事を好んで、平常疊の上で死にたくない威勢よく人のためなら刄に罹つて死ぬと云ふんだから恰度こんな事なんて、好い按排だから、お前方も確乎して行つておくれ」夫から三人の覺悟も決つたから、五郎兵衛は上野へ再び出まして圓珠院樣へ御目通りを願ひ　五「さて圓珠院樣、腕ッ節の確かな野郎三人に、駕籠を擔がせて私が從いて往きますから如何なに堀田役人が鵜の目鷹の目で附けましても、宗吾郎樣の御身の上には間違のないやうに、私共生命に賭けて御引受いたします　圓「ア、辱けない、志と云ふちや多くの人に代つて、生命を棄てやうと云ふ宗吾どんに、天の祐けを以て、お前のやうな義俠な者が此御山へ御出入をして居つたのが勿怪の幸いと成つたちや、それでは五郎兵衛頼むぞ　五「エ、宜しうございます、御安心なすつて」



京城新報

法律學校設立は不可也

韓國に法律學校を設置し韓人に法律を學ばしむるは帝國の保護統治上及韓國開發の爲に可なりや否は、須らく一考を要する問題也、歐米列國が保護國若しくは殖民地に於て施設したる學校敎育の例に徵するも其結果の甚だ不良なるを認識す、務に韓人の如き空論を好み實行を重んせず、理屈に奔りて實業を輕んずる國民に對しては最も不可也、余輩は此見地よりして韓國に於て法律學校の設立に反對するもの也、

然るに頃者在韓京都帝國大學法科出身者は京城に私立法律學校を設立せんことを協議せられつゝありと聞く、果して事實なりや否は知らざるも、若し夫れ實際其計畫ありとすれば、余輩は保護政治の運用上及指導啓發の點に於て果して不良の結果を來たさゞるやに就て深く考慮を煩さゞるを得ず

余輩と雖も法律思想を養成し、權利義務の觀念を持たしむるを絕對に非なりと言はず然れども往々其敎授の目的に反する結果を見るの例に乏しからず所謂角を矯めんとして牛を殺すの愚を演ずることあり、由來韓人は饒舌の民也、理屈を好みて實行を嫌ふ空理空論は韓人の特長也、世稱して鸚鵡國民と嘲笑するも强ち不當とのみ云ふ可らず要するに口の人にして手の人に非ず、斯る國民に向て法律理論を敎ゆるは恰も燃火に薪を投ずるが如き結果を見るや明也、左なきだに饒舌の風ある國民に法律を學ばしめば所謂好きの道は益々墓堅するに至らん

米國が比律賓に敎育を盛にしたる結果は如何、政治法律を學びたる土人は動ともすれば獨立を唱へ土民を煽動し以て常に平和を攪亂せんとするに非ずや、蘭邊の如きは既に此轍に鑑りて殖民地には殖民學校を設置し殖民經營に關する學科のみを敎ゆるに至れり、南米に於ても印度に於ても土民の政治法律を學びたる者は概して平和の攪亂者たる傾向あり、此等の實例に徵するも帝國が韓國を保護統治するに於て大に鑑むる所なかる可らず、惟ふに韓國を平和に保護し韓國を開發するには可及的に生產事業に指導せざる可らず、彼等をして權利義務を叫ばしむるより以一反の水田より幾干の收穫を增加せしむべきやを研究せしむるを要す

理屈に走りて衰頽せる韓國は生產的の知識により回復せざる可らず、韓人に對しては徹頭徹尾生產的敎育を普及すべし、政治法律の如きは寧ろ絕對に敎へざるを可なりとせん然るに今更法律學校を設けて韓人に法律を學ばしむとは甚だ思はざるの業たる也、

在留邦人の此等專門の學科を修めんとする者には祖國に學ぶの便宜あり、今日特に之を設置する迄に至らず、寧ろ殖民に關する學科を敎ゆるこそ急務也、

余輩は何れの點より見るも法律學校設置の必要を認むる能はざる也、

東京電報

▲韓太子晩餐會

韓國皇太子には今夕我東宮殿下、有栖川、竹田、北白川、朝香、東久邇の各宮殿下、伊藤統監、德大寺侍從長其他御用係を招かれ晩餐會を開かせらる（六日午後發）

外報一束

●士國反動派の死刑

十三名の士耳其反動派（廢帝派）八十は軍法會議に於て死刑の宣告を受けたる後首府君士坦丁堡に於いて絞首せられたり

●露人衝突原因

黑龍江巡撫周樹摸より外務部に達したる電報によれば黑龍江、烏蘇里の露國職工間に惹起せる衝突の原因は鐵道工事に淸國人の使用を禁じあるに拘らず支那人夫の賃銀廉く勤勉なるを以て露國職工等は依然窃かに支那人を使用し居るに就き他の露國人夫は不平を抱き遂に衝突せるものにて今に落着せずと云ふ

●前土帝の財產

土耳其前帝は金員缺乏の境遇にありと傳へらるサロニカ知事は爲に一千磅を支給せり又帝室財庫の鍵は君士坦丁堡府に送られたるが財庫中の在金は國家に沒收する事となるべしと

●利益交換政策

露國は光緒二十六年北淸事變に乘じ淸國より獲得したる黑龍江省漠河金鑛を淸國に還附し其代りにホルワード將軍の北京にけけ東淸鐵道租借地行政權問題の行惱み居れるを挽回せんとする意向ありと

●東京記者團一行

東京新聞記者團の一行は四日旅順港灣の視察を了へ白玉山納骨祠に參拜し正午より市民の催しに係る歡迎會に臨み午後五時半の列車にて北方に向へり

雜報

●治外法權交涉

滯京中の香阪韓國大審院長、倉富同法部次官は我外務省との打合を了し統監府は玆に韓國にける治外法權撤去に關し東京駐箚列國大使及び公使と交涉を開始することゝなれりといふ（大每）

●驛屯土引渡開始

東大門外に於ける驛屯土三百四十町歩は一兩日中に漢城財務監督局員立會の上韓國政府より東拓會社へ引渡す由なるが是れ驛屯土引渡しの嚆矢なり

●吉原副總裁の歸着

三南地方旅行中なりし吉原東拓副總裁の一行は七日夜八時歸着せり

●松平東拓監事歸着

黃海道方面に於ける農事視察中なりし東拓監事松平子爵は昨七日京城へ歸着したり

●本年度敎育補助金

本年度に於て統監府より敎育補助金を受くべき日本人小學校數は從來の五十八校と本年度より新たに受くべき二十八校、都合八十七校にして其總額は四萬圓にて之を昨年度に比すれば一萬圓、一昨年度に比すれば二万五千圓の多額なりと

●勝田理財局長入京

既報勝田理財局長は田書記官を隨へ昨七日夜入京天眞樓へ投宿せし筈

●普通學校の增設

韓國に於ける官公立普通學校數は公立五十官立九合計五十九校に過ぎざるが今後の增設は經費上不可能なるを以て學部は各道に於ける私立學校中設備稍完全なるもの三十校を選び之を普通學校の組織に改め學部より日韓敎師各一名を任命し其俸給を補助する事に決定したりと其の設定地左の如し

△京畿道揚州、南陽、廣州△忠淸北道沃川永同△忠南道稷山、藍浦△全北道全堤、咸悅△全南珍島、潭陽、長興△慶北道安東、延日、金山△慶南道河東、巨濟、釜山鎭、△江原道鐵原△黃海道瑞興、載寧、砂利院△平北道龍岩浦、博川、鐵山△平南道高原定平△咸北道明川

●私立學校設立請願

私立學校令の發布以來該令に基き私立學校の設立認可を學部大臣に請願したるもの本月一日迄に千七百〇八校の多きに達し居る由にて內六百九十八校は宗敎學校なり術此の中既に許可濟のもの二百四十二校あり今請願數を各道別にすれば平南道の三百九十九校、黃海道の二百七十八校を始めとし平北の二百二十九、京畿道百三十九、漢城八十六、忠南六十四、忠北道四十五、全南道二十一、全北道六十二、慶南道四十三、慶北道百五十五、江原道二十八、咸北道十五校なりと

●農銀支配人會議

韓國各農工銀行支配人會議は本日午前より向ふ十日間の豫定にて漢湖農工銀行樓上に於て開會する由出席者八名左の如し

平安農銀支配人 士谷彦太郞
海州同支店支配人 山下後潤
漢湖支配人 久能省三
太田同支店支配人 澁谷太吉
慶尙農銀支配人 安川和二郞
同晉州支店支配人 豐田明敎
同草梁支店支配人 森本市郞
全州農銀支配人 岩崎虎次郞
光州農銀支配人 佐藤喜久治
咸鏡農銀支配人 林慶太郞
同會寧支店支配人 遠藤文意
同鏡城支店支配人 西垣直記

●支配人會議と諮問

今八日より漢湖農江銀行樓上に於て開催すべき韓國農工銀行支配人會議に度支部より提出すべき諸問事項の重なるもの左の如し

一、昨秋來米價の下落が銀行業務に及ぼしたる影響、之に對して銀行の採りたる方策及將來の方針
二、於音無効の判決が金融に及ぼしたる影響
三、手形用紙製造並に賣下に關する規則改正の効果
四、舊白銅貨及葉錢流通の狀況
五、地方金融組合と連絡を保つの可否及其方法
六、農業技手配置の効果
七、取引先信用調査の方法
八、動產擔保保管の現狀及將來に對する改善意見
九、鑑定料決定及徵收方法
十、諸報告表改良に關する意見
十一、帳簿組織改良に關する意見
十二、行員風紀の維持に關する施設

●平南殖林と瓦製造

平安南道甑山郡黃集面に於ては同面居住の有志相謀りて殖產會なるものを組織したるが同會は學校基金を爲す爲めに過般約一萬坪の民有山野へ松赤陽木柳等の苗木一萬本を試植し又同面歌豐里居朴昌厦なるものは栗樹繁殖の目的にて栗種四斗を蒔付けたりと尙殖產會は瓦製造の計畫を立て目下竈及製造所を建築しつゝありと

●歐洲輸出大豆競爭

目下歐洲に於ける滿洲大豆の聲價甚だ好良にして同方面より大連地方の輸出商へ向け注文切りに來るを以て同輸出商人等は爭て大豆の買收に盡力したる爲め埠頭在貨多量なるに關らず尙品拂底を唱へたるの狀况なりと

●築港請願書提出

仁川築港請願書の調印は一昨日を以て全部終了し昨日正午十二時より同所民團樓上に於いて委員會を開きたる後委員一同仁川理事廳に出頭し請願書を提出したりと

●東拓會社の招待會

東拓會社にては同社の監理官たる勝田理財局長中村農務局長、兒玉伯代荻田統監府書記官、柳度支部書記官の四氏、監事松平子爵野田、趙の三氏及目下在京中の各財務監督局長を來る九日午後六時より京城ホテルに招待して宴會を開く筈なるが主人側には總裁以下各重役及其他重立たる者參列する筈なりと云ふ

●師範學校の入學者

過般執行したる漢城師範學校の入學志願者は二千二百五十七人、受驗者一千七百三十六人にして入學したる者は百九十四人なり

●警察官の入所式

過般熊本廣島兩縣に於て募集したる巡査五十名は七日を以て巡査に任じ警察官練習所へ入所を命ぜられ昨日午前十一時より練習所に於て入所式を擧行したり

●在京文學士會開會

在京城文科大學出身者は十名に及びたるを以て高橋高等學校敎授、幣原統監府囑托發企となり本日午後六時半より掬翠樓に於て文學士會を開く筈なり

●南浦愛國婦人盡力

愛國婦人會鎭南浦委員部にては先般來管內各部に對し會務擴張に着手したる結果安岳信川地方の韓婦人二百餘名日婦人數十名の新會員を得て總會を開催するに決し鎭南浦在住の委員部長秋本理事官夫人古莊新田伊藤谷川片掛山崎の役員夫人は海陸七里の不便なる道程にも拘らず日韓婦人の親和を期する爲め特に旅費出向西村民長世話役として同伴し去四日安岳郡衙に於て盛なる郡部總會を擧行し尙夜間には例の活動寫眞會を開催し晝夜とも各夫人諸氏は熱心に斡旋盡力したるが信川郡守夫人其他會員十余名は三四里附近より態々參會したる由なりと

●ラ子ロング博士入京

英國上院議員ラ子ロング博士は日本より七日夜入京韓國を視察する由

●大東共報發賣禁止

在浦鹽韓人の發行せる大東共報第三十三、三十四號は治安を妨害するものと認められ七日內部大臣より發賣頒布を禁止されたり

●皇室債務と愛恤金

皇室に對する債務は一司七宮に屬する分は準單及雜債務にして此內愛恤金を受けたる分は各宮債務の六件と雜債務の內一件にして三月二十日迄の申出期限に後れたる分は全然支拂はざる筈なりと云ふ

●高女學校職員謁見

官立漢城高等女學校學監赤穗千寮子尹敎授及三名の副敎授（內一名日本人）は六日午後三時三十分李學部大臣に帶同せられ昌德宮に伺候、皇后に內謁見を仰せ付けられたる茶菓の饗應を受けて六時退出したり

●皇室債務整理

過般來皇室債務審査會にて整理中の帝室債務は過般大略を終り本月を以て審査を終るに由なるが今整理の經過を聞くに申請件數六十件此の金額二百六十萬圓に達し其種類金額別は左の如し

▲第一、各宮債務　各宮は元來皇室の內帑に屬して祭祀用料理の調進御用各種物品の製造及下賜さるゝ布、米等を調進する機關なるが各宮は皇室より獨立して特別會計の組織なりしも年々支出は收入に超過し遂に莫大の負債を生ずるに至れり而して今回の債權申請額は合計六十餘万圓に達し請願人は槪ね各宮の役人にして自己の私金を以て宮の經費を立替へ支辨したりと主張するも審査會にては債權を確認する證據なきを以て哀恤金として申請額の三分の二丈を一定の期限を附し支給する事に決定したりと

▲第二、準單債務　準單は韓皇の發したる仕拂命令の性質を有するものにて曾て皇室が書策を立て其經費を御用金として人民より徵したるが此の中に包含し居るべし然れども其の多くは證據確實ならず申請額は十四萬餘圓なりしと云ふ

▲第三種債務　人民より宮中に納付せる物品の代價宮殿建築費其他の損害賠償にして債權申請額は最も多く百六十萬圓なりとさ御申請者の國籍別は淸國人五件日本人二件佛人一名英人一名他は皆韓人にて內佛人の申請は證據完備せず全部支拂の義務なしと判定されたりと因に前記申請額二百六十萬圓に對し支拂の義務ありと判定されたるもの合計三十萬二百三十七圓にして其の內譯は各宮に債務十三万八百六十圓準單債務十万六千四百二十圓、雜債務六萬四千九百四十五圓なりと云ふ

●釜山漁業取扱件數

釜山理事廳にて四月末漁業出願調査によれば受附件數九百〇六件內免許七百五十二件內百二十一件進達內許可五十件內十三件進達許可屆出百件雜四件此手數料金一千五百〇四圓許可稅金百三十五圓屆出稅金三百二十圓五十錢なりと

●平壤公園植付

農商工部より平壤民團へ下附すべき苗樹は此程三千餘本着したるを以て全部公園敷地に植付を終りたりと

●鷄の連帶輸送

鐵道管理局にては來る十一日より韓國鐵道に限り鷄の連帶輸送をなす由

●將校の幹部演習

將校十六名は池田大尉に引卒せられ昨日午前九時の列車にて平壤に幹部演習の爲め出發せるが約四泊の豫定なりと

●ソンタク孃の辭任

宮內府御用係なるソンタク孃は今般其の職を辭したりと云ふ

●釜瀨高女學校長

釜瀨新平氏は五日夜入京敎育事業の視察をなす由

●高女女敎諭着任

京城高等女學校助敎諭に任ぜられたる秋元てう子は一昨日着任したり

●倉富法部次官歸任

先般來東上中なりし倉富法部次官は土屋同部事務官と共に本八日午後八時十分南大門着の列車にて歸京せる筈なり

●赤間支店長の出發

東亞實業會社長兼支店長赤間嘉之吉氏は本朝九時十分南大門發の列車にて赴任の途に就きたり

●大橋主幹の歸任

鎭南浦愛國婦人會員集會及安岳方面總會に出張したる大橋本部主幹は六日夜歸任したり

●故ベッセル氏實弟の退京

故ベッセル氏の實弟ボップ氏は昨朝發京釜列車にて退京したるが多分歸鄕したるならんと云ふ

●統監府給仕研究會

今八日開催する同會に左の諸氏の講演あり

一、富城旅行談 間瀨市三郞
一、道德と法律 伊藤禮太郞
一、日韓關係歷史談 田中半四郞

●微笑會の開會

大和町三丁目微笑會には本日午後三時より例會ある由

●晉州三千浦間道路

晉州、三千浦間七里の道路は目下人民に賦役して開鑿工事中なるが兩地間險阻の難所に乏しからず觀察使より度支部に向ひ一萬圓餘の補助金下附を申請し居れりと

●出入船舶と在港船

一昨日の仁川入港船は神代丸一隻にて出港船は矢崎丸、溫州丸の二隻在港船は楊武、南越丸、東照丸、神代丸、燕、安東、錦江、三省、仕の江、鎭觀、京城號、北國丸の諸船なり

●四月屠殺牛豚數

四月中に於ける京城屠殺數は牛六十五頭豚二百二十一頭なりと

●南韓鑛業の調査

木浦商業會議所にては南韓鑛業布設に關し之れが材料蒐集並に諸般の調査を爲すことゝなり近々實地調査に着手する爲め調査員を撰定し沿線の各地方に出張せしむべしと

公人私人

▲吉田太一郞（辨護士） 六日退京釜山に向ふ
▲中島英馬（大邱步兵十四聯隊付陸軍一等主計） 同日歸任
▲川上繁治（平壤金融組合理事） 六日入京三日月
▲澁谷太吉（漢湖農工銀行太田支配人） 同上不知火
▲土屋喜太郞（同平壤支配人） 同上山本
▲堀誠（元山財務監督局長） 同上浦尾

近事片々

▲觀光團將さに歸らんとす彼守舊連中の日本觀光は果して幾何の見地を進めたる乎
▲一個月の觀光は能く文明の洗禮を受け韓國今後の發展に就て幾分稗る所ありしや
▲韓國の鐵道は日本の鐵道よりも大也と誇る中は未だ洗禮を受るの域に進まず矣
▲其大なる鐵道は何人の手になりしかに想到する迄に至らず稚氣寧ろ愛すべきのみ
▲如何に歡迎を受るも親切にせらるゝも靑目鏡には靑く映ず皆もく濟度頗る困難
▲觀光團の爲には伊藤老公も大に努め玉るものゝ如きも其大切の効能ありや疑問也
▲金嘉鎭と完用との握手金の度支部大臣說は事實らしく風說さる果して然りや否や
▲是が事實也とすれば任善宰相は如何にすべき例に依りて中樞院顧問に祭り込む乎
▲宋秉畯の歐米漫遊說は消へて日本內地行政視察と變じ李容九不相變脹を据へ居る
▲一進會連中は兩親分の不在にて氣細聊に暮らす只管二人の歸國を鶴首して待てり
▲最後の思出に一進會も花々しき活動をなすとの說は矢張り呼聲のみにて其實なし
▲軍備の擴張は列强の財政を苦ましむる富大の英國さへに歲入に大なる不足を生せり
▲獨逸亦然り財政難の爲にビュロー宰相の位置危殆ならんとの電報あり軍備可怖也
▲軍備競爭の爲に列强政府皆破綻せんとす杞憂する者あり然り恐れ大に杞憂すべき也
▲帝國も亦此渦中に投じつゝあり何とか方法を立てゝ列外に逸するの工夫を要す也
▲土國前帝の財產は總て國家に沒收せられて小使錢をサロニカ知事に借る最ど哀れ
▲榮華は夢か幻か實に人世の敢果なき昨の王は今の囚人土國前帝の身こそ悲むべし
▲桂內閣は議院黨派を其政綱の一となす夫が爲に頻に議員征伐をなすとは事實にや
▲果して然らば大に好し議院の黨派のみならず更に官界の黨派をも剿滅するを要す
▲順序より云ば先づ自己卽ち政府より肅淸するを要す併し議院黨派は甚だ嘉すべし
▲ル氏旣に韓地に侵入し遅早くも獅子三疋を生捕る其行動迅速耳を掩ふの暇あらず

●鴨綠江岸の貿易　目下鴨綠江岸に於ける貿易狀況は韓淸兩側に於ける沿岸地方の人民の平常使用品類は悉く對岸淸國より自由に運行することを得且無稅にて輸出入し得らるゝが爲めなり又金融に於ても[illegible]大豆の輸出貿易は結氷期に於て最も多く行はれ解氷期は僅々の取引あるに[illegible]す之れ此期間には稅務署出張所員に納稅を强請せらるゝに反し結氷期は何れに於ても[illegible]昨年二錢五厘貨引上以來非常に補助貨に不足を生じ一月末は約二千圓三月中約千圓の補助貨を供散したるも江界附近の金融狀態は尙は好況の域に進まず而して對岸より輸入するものは穀物、材木、紙、綿布、獸皮靑、雜貨、藥物、金巾等なり

●南浦學校生徒數　南浦尋常高等小學校生徒四月末日の現在數男生徒百六十七人女生徒百四十一人總計三百八人なりと

●實業學校學監任命　元福井縣敦賀町立甲種商業學校長[illegible]氏は今般釜山[illegible]實業學校學監を任せられたり

●鴨綠江岸の貿易 目下鴨綠江岸に於ける貿易狀況は韓國側に於ける沿岸地方の人民の平常飲用嗜好類に悉く對岸淸國より節は又大豆の對岸貿易は結氷期に於て最も多く行はれ解氷後は僅々の取引あるに過ぎす之れ此期間には稅務署出張所員に納稅を强請せらるゝに反し結氷期は何れに於ても自由に通行することを得且無稅にて輸出入を爲し得らるゝが爲めなり又金融に於ても昨年二錢五厘貨引上以來非常に補助貨に不足を生じ一月末は約二千圓三月中約千圓の補助貨を供散したるも江界附近の金融狀態は尙ほ好況の域に進まず而して對岸より輸入するものは穀物、材木、紙、綿布、獸皮骨、雜貨、藥物、金屬等なり

●南浦學校生徒數 南浦尋常高等小學校生徒四月末日の現在數男生徒百六十七人女生徒百四十一人總計三百八人なりと

●實業學校學監任命 元福井縣敦賀町立甲種商業學校長福井德平氏は今般釜山開成實業學校學監を任せられたり



●余が觀た天理教(三)

▲天理教の教祖(一) 柳江生

天理教の主神は天理大神であつて、天理大神は十柱の神の總稱であるから、天理大神を信心すれば從つて十柱の神を信心するに當ると云ふ、成る程便利な神樣である、それにしても這麼重寶な宗教を抑も誰れが創めたであらう、僕は天理教の信者で無いから十分の研究は出來ないが、それでも天理教に關する二三の著書に據つて見ると

教祖は中山美伎子とか云つて大和國山邊郡朝和村大字三昧田の一百姓の娘である、素より大した學問のある理でもないが、幼さい時から多く戶外の遊戲を好まず又衣裳を飾るなどいふ事もなく常に父母の側にあつて、習字、裁縫、機織等を習つて居たが、**八歳の時**には既に大巾の木綿を裁つて**自から衣服を縫ひ上げ**たといふ位ひで手藝に就いては實に天稟の好を得て居た、かくて兩親が大の淨土宗信者である所から自分も何時しか信佛の心を起して經文和讃の讀誦に勉めた、その結果遂ひに**出家遁世の志**を起し、剃髮染衣の尼さんとなつて淸淨重貞を保たんものと思ひ、幾度か兩親に願つて見たけれど素より慈愛厚き兩親は蕾の花の美しきを木の端と同樣に見らるゝ出家の願ひを許さるゝ筈はない、十三歳の時同郡庄屋敷村なる中山善兵衞と云ふ人に嫁したが、その婚嫁の條件として美伎子は毎夜々々業を終つた後念佛勤行を許さる可を申出たといふ事だ

●請負組合の失敗

▲談合金二千圓取損ね ▲嚴重なる警察の取締

請負師仲間の惡習として他人の工事落札に乘じて談合金なるものを强請し其結果往々刃傷等を惹起し其筋の厄介となりたる事實は屢々吾人の聞く處なるが茲に當地請負師の重なるものは去る二日某旅館に集合して**新に組合を組織**し從來の如く**談合金**の奪ひ取り杯を止めて組合に於て**一纏**に之を受取り而して組合員は之を**等分**する事を約し其第一着手として今回當地日之出町岡本文藏が某官署の建築工事を一萬七千五百圓にて請負たるを以て是れが談合金**二千圓**を組合へ**受取**る事となりしかば去る三日組合發會式を**擲翠樓**に於て開催し而して該二千圓の談合金は一昨六日午前十時授受を了し此內より擲翠の宴會費八十八圓を引去り六百八十圓を組合の**基本金**の內に入(組合基本金は千五百圓に達せしむる積り)殘額は組合員即ち吉城與四郎、諸戶繁藏、佃幸助、深見秀四郎、中山眞吉、遠藤次郎、池田淺治、松木高助、新田秀吉、山中隆次郎、清水某の十一名が**一人前百十二圓**宛を分配せしを敏くも南部署の**探知**する處となり昨日關係者一同を同署に召集し桐原署長は例の大音聲にて嚴重なる說諭を加へたる結果分配金及び基本金は勿論宴會費も各自割前を出し二千圓の現金は**無恙**岡本の**手に歸**りたれば署長は早速之を銀行に預金せしめたり尙ほ彼等組合に向つては今後決して斯かる不正行爲なき樣懇々說諭を加へて引取らしめき因に表面受負業なる看板を掲げて其實談合金のみを貪りて生活せる所謂金線連中は用捨なくドシドシ處分する筈なりと云ふ

●警察の待合退治

▲不良な者は悉く排除

檢番が出來て、そして藝妓は自由に待合へ出入りが出來ると云ふ事になつた爲め此頃の待合開業者は實に雨后の筍の如く願出づるも其多數は何れも不完全なる家屋の構造或は不良なる人物等なるより警察にては斯かる連中は悉く不認可を與へ尙は從來開業の分と云へども不良なる者は此際調査の上遠慮なく之を排除し何人でも行ける樣な立派な家屋でうして是れが營業者は善良なる人物のみとなさん考にて目下其調査中なりと云ふ

●歌留多大會 當京城に於ける爾霞會の共同主催に係る百人一首歌留多大會は來る九日午前十一時より京城座に於て開催せらるゝ由なるが申込者非常に多く申込締切期日を七日としたるも猶或は同好者の希望を無にすることもあらんかとて一日丈けを期することに決し今八日中に申込めば差し閊へなき由なれば同好の士は會費金三十錢を添へ明治町金澤館隣り小山氏迄へ申込まるべし因に記す賞品は一等より十等までなり優勝者を出すは果して何れの會ならんか

●憐れな病人 岡山縣邑久郡牛窓町四百十五番地福岡鎌三郎(四十)は當地に來り勞働に從事し糊口を凌ぎつゝありしに客月上旬僂麻窒斯に罹り勞働も出來ざるより其知人なる本町七丁目森才之助方の厄介となり居りしも今日となつては才之助も最早世話も出來ざる有樣となり此旨警察署に屆出でたれは同署にては止むなく民團役所に交涉し行旅病舍に收容したりと

●感心な小學生 當地西四軒町渡邊庄次郎長男渡邊恒市(十三)と云へる小學生は一昨日大和町二丁目に於て革製錢入一個(五圓九十五錢入)を拾得して警察署に屆け出でしに此拾主は大和町一丁目矢野林治と判明して直ちに本人に還付したりと感ずべき事共なり

●仁川の清潔法 仁川警察にては市內各區の清潔法を去る五日より勵行せるが市內全部の執行を終るは十六日の豫定なるも雨天其他にて廿日頃まで延期せざるべからざるべしと

●熱三魔詩(上)

魚遊痴史

▲其一『神魔地』

二度と再度び井門の支店
杯と謂つゝはまり込む
ほんの一チ夜の花嫁御寮
月下氷人いらずの假枕
いまさら後悔どう松榮と
醒覺る時分には無一物
花のいろ廓足踏み込めば
厭嫌な醜聞が高しま屋
誑されるとは知ら南山に
逆せ登樓つて墮落する
計る略ると思へば敵娼に
量られましたよ大桝屋
何より第一お金が無りや
優遇や支店よ色魔の巻
昨日京城ツイうかうかと
面白紛ぎれに深はまり
來たら此まゝ歸へ山遊て
無理に登樓らす梯子段
何んと滿月れ顏を見ねば
胸裡も鬱ると空なみだ
陽氣な皆春野に咲く花は
眺めこそすれ手に探な

●ヨボ同志の撲合 仁川花町通新昌洞の街路に於いて一昨日午後五時頃多所面內長川里居住の金見根と云ふは谷洞居住の洪文七(四十)と云ふが間違つて金のツルマキを着したるを憤り洪の謝罪するをも顧みず毆打したれば警官出張し此を引致し嚴重なる說諭を加へて放還す

●公判だより 法務院に於ける來る十日の公判左の如し
民事(午前十時)上訴人尾賀正三郎被上訴人大橋正三郎間の貸金請求上訴人西田啟太郎被上訴人吉田豐八間の貸金請求上訴人桐木藤吉被上訴人中村忠八間の賣掛代金請求
刑事(午前十時)恐喝取財山口友太郎外二人辨護士岡田榮、木尾虎之助及び賭博武生次郎

演藝界

▲永樂亭 竹本一昇一座義太夫今夜の語物は谷三(忠)お染質店(小富士)朝顏宿屋(圓朝)埴生村(輝美)日向島(梶登)お後(一昇)關取千兩幟(總掛合)

▲壽座 盛籠團今日の替り『腕と腕』役割は番頭芳藏(松村)森口賢三(小柳)僞刑事遊び人吉造(大山)中村靜子(藤原)僞俳優中村愛之助(篠田)遊び人鬼目の金太(阿部)書生櫛藤二郎(東鄕)下女おなべ、おら屋源兵衞(高山)中村正道(中村)女裝男子七之助(小堀)中村進哉(田宮)

●ぶらつ記(三)

ぼく

五日又雨る、意未だ決せざるに客の來り訪ふに逢着す、奇貨措くべしとなして出です、六日夜、燈臺元暗しの諺に洩れで我れ未だ曾つて日の出亭を見ず、別嬪揃ひなりと云へば、何も法樂也。見らるゝ人は何れは因果の塊ならんも親が代々獵師ならぬ丈け木戶錢取らるゝ憂なしと聞いてノソリと立ち出でたる時刻は午後十時三十分本社橫巷路を入りて佇めば、既に人あり、白紙帖りたる硝子障子の隙間より眼斗り入れて打ち罵る、「お登樓んなさいな」と云ふ「厭だ」と云ふ「厭で幸いよ」と罵り返す「何をお多福奴」と行る「デモ宜いのですつて」と負けては居ず。

何んと花柳巷名を呼ばるゝ妓にや、ツト起上つて對金の袋、端を摘んでスラリと引けば、棹は朱檀か三味線の、帶に挾んだ撥袋ツルリと落ちた座蒲團に片膝ついて婀平確焉、媚然見せた片笑靨、縱令傾城傾國の、力はなくも溫突の、五間三間傾けるには手間隙費るとは覺はへず。夜目か遠目か化粧の効か、玉をのべたと見う腕に、一寸濕りた紅の、於其の唇、可憐やな、韓郞、淸夫の甜るに任して省慮ずとかや。

調子合はせて彈く三味の、音色に寄るか、人垣造つた其の中には、ハナマの帽子、金口煙草豐かに燻らす人のあり、通信官署の高等官、慣れては他の目も憚らず悠然とて入り玉ふ。撥をハラリと火鉢の橫へ、ツルリと下りて兩手を肩に、見下す眼、見上ける目、古語に云はずや、心通へば眼も口程に言をいふと、點頭き合ふてイソイソと、前に立ちた女の姿、嬉し相なが憐らしい。取り殘された溜りの女も、立ちつくしたる素見客も等しく嫉妬の目を睜る。一客あり叫んで曰く、ア、不滿らねエ、吉生奴、と。何時まで立つて居つたとてお茶は挽いても吳れるでなし、此の上雨でも降られては、叔父御に當る彌次さんの面にもかゝる譯けなれば、と何處へも回らず家に歸る。見れば噂の別嬪も噂で聞いた夫れ程でなし

●韓語獨習

……片仮名は韓語……

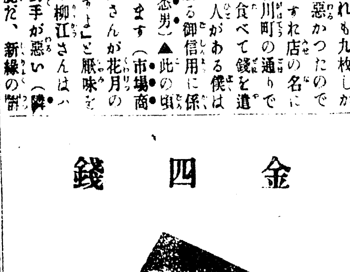
日曜日(イルヨリー)月(ウォル)火(フワ)木(モク)金(クム)土(ド)二日(中)(イッツル)六日(圓)(イヨッツイ)十日(間)(イヨルフル)

日語	韓語
來月、二十三日は、何の日ですか	オイツオル、スウムサフンナールン、ムスンナーリヨ
日曜日です	ウォルヨイリヨ
今日は、何日ですか	オヌールン、メッチルリヨ
明後々日は、九日です	クルブイヌン、チョアーレンナーリヨ



▲丸子さんにお答へ致します、相變りませずロから出任せにやつて居ります御心配下さいまして有り難ふ御座います(柳江)▲韓人が道路に下水を撒布するには閉口だ實に臭氣甚だし何とか取締りを願ひたい(長松)▲曙町に此度八々と云ふ饅頭が出來たが安くて上味い(一個五厘)▲南山樓の常盤は近頃今吉さんがお出にならぬとて引込み勝だ相だ餘り心配すると病氣になりますよ(兎山の鳥)▲新案武田式經濟焚附火玉は便利得用向である(南山町官舍內杉田ハツ子)▲こんとんが食べたいが何所かに賣つて居る所はありませんか物識り小僧君にお尋ね致します(南村生)▲冷語ては困る、本來ならお答へせぬのですが此の前の蛤喧嘩で懲りて居るから柔順に答へる、賣つて居る所なし作らへるのに手間も暇もかゝつた物でないからお作りになつたが宜しからふ(小僧)▲常に太平洞八君が憤慨せらるゝが太平洞附近は新町よりは激烈に醜態を演じて居るモ少し何んとか方法が有り相なものだ(石非洞人)▲太平湯の內儀此の頃はお世辭が云へる樣になつたね(同上)▲私は先日或內で海苔を買ひましたら九枚しかありませんでした本日買ひましたが此れも九枚しか無かつた改めて受取らぬのが惡かつたかも知れませんが商人方も御注意が肝要です(下女)▲先夜長谷川町のチョンガーの賣つて居る餅を食べたらぬ計りか打ん撲つて逃げた人が其の人の名ご家とは知つて居りますから御愼みなさい(知悉男)▲昨六日の夜御社の柳江さんが花奴に『何うせ私は未製品ですよ』と頭から浴せ掛けられたスハト柳江さんはハハハと笑つて居られたが對手が(席男)▲花の爛熳たるは艶麗だ、新綠の蒼々たるは瑞々しきものである、而して更らに常盤樹よりも落葉樹の夫れが美しい(花子)▲古い文句だが同感です(係り)

●天氣豫報(自七日午後六時至八日午後六時)
南西の風晴
七日 最高溫度 五七、七 最低溫度 五〇、五 (華氏)



各種洗濯石鹸
專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用
京城旭町二丁目
(電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

雇われたし　家族少なき家を望む十九女(氏名在社)

年廿五体強簿記精通會社商店へ雇はれたし確實保證人あり給料多額を望まず　氏名在社(二四〇)

長崎縣人　佐藤コノ　上記の人住所御存知の方は乍御手數京城旭町一丁目池田質店迄御報を乞ふ(二四五)

女中入用年齡間はず清潔好きの者身元保證人を要す　南山町一の四七　月報社篠塚

●雇入　十五歳以上二十歳以下丁稚至急入用　龍山元町三　日韓組

●教授　禮法茶華活花琴教授す　旭町二の七〇　丸目幸琴(二五二)

物件部

貸家　若草町一温突一間疊敷二間日本流押込二外に炊事場玄關井戸付家賃　若草町一の一二九矢島(二四一)

貸家　若草町一温突二間疊敷二間日本流押込付外に炊事場玄關井戸付家賃三五〇　若草町一の一二九矢嶋(二四二)

貸家　若草町一温突三間半疊敷一間炊事場押込付家賃一三五〇　若草町一の一二九矢島(二四三)

求貸家　西大門外西小門外方面なる四五十間の韓人家屋を格安にて貸受けたし　氏名在社(二四七)

貸家　南大門附近目拔の場所總二階間數十六疊敷六十五造作敷金共百五十圓　旭町一の六十　旭町競賣所

●求貸二階　南大門より本町三丁目迄の所にて觀望のよき二階二間(床、押入付)格安にて借受たし(夫婦者子供なし)　韓國側官吏　姓名在社(二五一)

廣告

東洋總代理店



電話八九四番　壹壹〇

在韓愛知縣人會

來五月八日午後五時より愛知縣人會春季大會開催仕候條奮て御來會あらん事を希望致候

一會場　京城　花月樓
一會費　金一圓當日御持參の事

申込所　京城大和町二丁目十號官舍　大橋勳苑

發起人一同

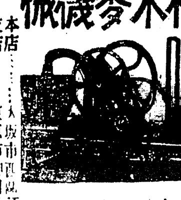
諸傘
和洋蠟燭あり
並に提灯類
入
京城明治町一丁目
大島商店

御小賣
新茶賣出し



京城本町五丁目
富士の里茶舗
電話九九七番

足踏



精米麥機械

發賣元
本店……大阪市西區江戸堀橋南入
支店……東京市神田區元佐久間町

▲東京上野特許品大阪內國製產品博覽會出品好評嘖々▼

上圖の如き形体簡單なる精白機にして上臺を除き全部鐵製なれば永久破損の憂なく一度足を踏めば杵は五回搗下し一分間二百回を促し精白五十分發熱絶無因て美味を損せず婦人小供と雖も輕快に作業す目下東西博覽會にて好評嘖々賣行最も盛なり定價は他機の殆ど半價石臼付八十五圓也

▲特約店　至急募集す營業案內及特約規定書送料二錢を要す

福井商會

豫約募集
好機逸する勿れ破天荒の大提供

ピアノ
オルガン

豫約規定
○豫約期限五月十五日迄
○特價臺數ピアノ五十臺
○特價臺數オルガン百臺
○詳細規定は御申越次第

調律及修繕依頼に應す

右臺數に制限あり申込は迅速を要す

東京松本樂器合資會社
韓國京城本町二丁目

松本新吉
小林松之助
四ヶ所洋品店
電話三二一番



開業廣告

百花妍を競ひ温暖掬すべきの候各位益々清穆之段欣喜不斜候私共今般有志諸君の御贊助を得て大島町元魚市場跡を改築寄席に致し此の沒趣味なる地を花壇に勝さる樂園たらしめんと慮り御園館と命名し各位の遊覽場に當て五月三日より興業開始として源氏節三根松一座を招聘致し開演仕候間賑々敷御來臨の程奉希上候　頓首

龍山大島町
電話四二九番
御園館　主　敬白

明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
東京火災運送海上保險株式會社
京城代理店　本町四　山口呉服店　電話九
事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸橫小路
(元花屋跡)
かめ屋

▲懇切の下宿▼

焦心單志多年爲斯道難於微義
奥旨恍然似有得者匪鑿推臆斷
呶呶芒洋辭愈泗腸素面輕譏也

易斷觀
相數授
通信判斷
京城本町五丁目
三一館
一件一圓特別二圓

りん病全滅

▲完全なる最新藥の出現と驚く可き効驗▼
▲絶望の淵に沈める淋疾患者に赫く光明▼

男子が淋病を輕微なる疾病なりと誤認して放任したる結果、病毒は漸次血液中に進軍して幾多の續發症を起し、遂に內臟を犯すに至り酒は恐るべき塊血症、濃毒症の如き狀態を現じて、果ては貴重なる生命を失ふに至るべし故にりん病患者は一刻も早く淋球を服用して怖るべき病源を根治せらるべし

帝國醫科大學實驗
內用　淋球(リンキウ)

價三日量五十錢七日量一圓廿八日量三圓五十錢

婦人の痳疾(せうかち)に至りては男子よりも一層危險甚く、深く家庭の奧に潜伏せる病毒の禍害は兎角婦人の羞恥心の爲に蔽はれて、應急の治療を怠る爲に、救ふべからざる生殖器諸病を續發して遂に斃るゝに至るは往々世上に見る處なり淋球の驚く可き効驗は是等悲慘なる淑女を救ふて餘ある可し故に淋病患者は輕症たりとも寸時も忽にせず、直に淋球を服用して恐るべき淋菌の播殖を未然に防ぎ、永く家庭の和樂を保護し給へ

本舖　大阪堂島蜆橋　高橋盛大堂藥局

特約店
京城南大門通三丁目　新井藥房本店　電話九〇四番
同本町三丁目　新井藥房第一分店　電話一〇六八番
同南大門外　新井藥房第二分店　電話四七八番

京城第一の娯樂場
廿錢均一　して毎夜無休　終日の勞を慰せんと欲するには須らく斯座に來り求められよ必ずや興あらん
午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額
電話千百二十七番
京城座



製販賣特約

大萬　(商標)

漬物
味噌
醬油
製造元
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)

和洋酒、罐詰、精米、穀物麵類、銘茶、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候



諸官衙御用品調達
各學校御用品調達

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委托販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺灣鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目　電話二三〇番
出張所　東京京橋區南紺屋町一丁目十番地　電話新橋三九六二

待合
醉月
京城旭町二丁目名古屋城横

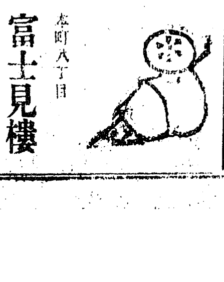
東京流
席貸
待合
電話一〇二五番
(京城南山町一丁目 大花水)

入院
隨意
松岡醫院
南山町一丁目
植村病院跡
電話六七五番

鴨綠江特種木材
九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄各種材
京城旭町三丁目
建築業　柴田芝之六
電話五六八番

九州セメント
上等生石灰販賣
京城南山町一丁目　電話三四四番
山村商店
龍山元町一丁目　電話三四八番
中村運送店

會席御料理



本町八丁目
富士見樓

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
電話十番

仁川海岸通
貨物及旅客取扱店
郡回漕店
電話三九番

●釜山長崎神戸行
山東丸　五月九日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸　五月二十七日正午出帆
●大連、大沽、牛莊行
山城丸　五月二十五日前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　五月十三日正午出
●釜山出帆、元山、清津、浦潮行
立神丸　五月二十六日

御注意
御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄ノ送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　一ヶ月金三十五錢▲一ヶ月前金四十錢▲六ヶ月前金貳圓▲三ヶ月...
●廣告料　五號活字十九字詰一行一圓四十錢▲五號活字十九字詰一行金五十錢...

發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城西部西小門通　京城新報社
電話六六三番